

平成 29 年 12 月市長定例記者会見 記録

平成 29 年 12 月 27 日(水)

午前 10 時～午前 10 時 45 分

発表案件

1 全国で初！テレビ電話を利用した年金相談を実施します。

1 月 23 日の火曜日から、市民の皆様方のサービス向上を図るため、日本年金機構と佐渡市を専用回線で結びまして、テレビ電話を利用しての日本年金機構の職員と、お客様が直接年金相談を行える「テレビ電話年金相談」を全国で初めて佐渡市で導入いたします。

今までは市内 4 会場で、月 2 回程度開催されておりました年金事務所の「出張年金相談」をご利用いただくか、直接、新潟西年金事務所まで出向いていただくしか、相談方法がありませんでしたが、「出張年金相談」での相談件数が最も多い、佐和田行政サービスセンター内に、テレビ電話を設置することで、利用時間内（9 時～16 時）でございますが、利用時間内であれば、年金事務所による対面での年金相談を受けられるようになります。

このご利用には事前の予約が必要となりますのでよろしくお願いいたします。

予約先は新潟西年金事務所お客様相談室、電話番号：025-225-3008 となります。

本日 12 月 27 日から予約受け付けをしておりますので、是非ご利用いただければと思います。

2 漂着船等の状況について

北朝鮮籍と思われる漂着木造船は、12 月 25 日現在、船体が 12 隻、船体の破片が 7 件、遺体が 9 体となっております。

その処分に関しましては、多くの日本海側の自治体に多大な影響を与えていることから、先般、新潟県及び関係機関に対して、国への財政支援措置の働きかけを行ってまいりました。

新潟県を含む北海道東北知事会も、関係各省庁に対し財政措置の拡充などの要請を行ってまいりました。

なお、新潟県から「北朝鮮籍と見られる漂着木造船に係る 12 月 22 日以降の処分費については全額国費負担とする」内容の連絡があり、その詳細や方法について、現在、協議を行っているところでございます。

今後、冬型の気圧配置が強まりますと、更に、漂着木造船が確認される可能性も高まります。

年末年始に関しては、海上保安署等の関係機関との連絡体制を更に強化し、速やかに対応できる体制をとってまいります。

市民の皆様には、漂着船等を発見した際には、近づいて確認することなどせず、警察や海上保安署等に通報していただくよう、重ねてお願いしたいと思います。

3 (仮称) 佐渡金銀山ガイダンス施設の建設について

今年度から来年度にかけ、相川地区の旧佐渡会館跡地を利用し、(仮称)佐渡金銀山ガイダンス施設の建設工事を行います。

配布資料の資料②-3 の図面をご覧ください。施設の敷地面積は約3,000㎡、うち平屋・鉄骨造の建物面積は約1,160㎡で、平成31年春のオープンを目指しております。

この施設は、佐渡金銀山の価値と魅力を映像やグラフィックパネルなどでわかりやすく紹介するとともに、来訪者の皆様を現地へと誘導するための情報提供の拠点となるものでございます。

また施設内には、展示スペースの他にガイドステーションや事務室、世界遺産関連の講演会や研修などの会場となる、講堂も設ける計画になっております。

施設建設により、佐渡金銀山の来訪者受入れシステムを整備するとともに、世界遺産登録への大きな弾みにしたいと考えております。

4 世界農業遺産 佐渡オリジナルブランドマークデザインの公募について

佐渡市が国連食糧農業機関である、FAOから世界農業遺産の認定を受けてから6年が経過いたしました。

2015年にはFAOの正式なプログラムとなり、先月にはヨーロッパでは初めてスペインの2地域が認定されるなど、これから世界的にもその認知が高まっていくことが想定されます。

これを契機に佐渡の世界農業遺産の認知度を更に高めていくことが重要であると感じており、佐渡の豊かな里山里海で育まれる農林水産物や、それらを活用して生産される加工品等の販売をとおして、その認知度を高めていきたいと考えております。

具体的には、農林水産物や加工品等の商品を生産・販売する生産者や事業者が農業遺産への理解を自ら深め、語り部となり、その商品を販売することで島外での世界農業遺産の認知度と佐渡産品の付加価値を高めていきたいと考えております。

このことから、この取組みを効果的に発信し、その商品の差別化を図るため、佐渡における世界農業遺産のオリジナルブランドマークのデザインを公募いたします。

年明けの1月5日の金曜日から佐渡市ホームページ等で告知を開始し、募集は1月10日の水曜日から2月20日の火曜日17時必着として、電子メール、郵送での応募を受付けます。

公募の目的や詳しい応募条件などは、佐渡市ホームページに掲載するほか、関連するWEBページ等でも情報発信を行う予定になっています。

5 地域おこし協力隊や大学生等の人材活用をする地域・団体等を募集します！

過疎化や少子高齢化により、集落運営や伝統芸能の継承が困難になるなど、人口減少に伴う地域課題は様々でございます。

こうした地域課題を解決するための新たな取組みとしまして、地域おこし協力隊や大学生の人材の受け入れを希望する地域等からのご提案を募集し、希望する人材とのマッチングを図ります。

なお、この公募は、人材募集や人材の誘致等の支援を重点的に行う地域等を決定するものであります。

応募資格及び条件は次の3点となっております。

- ①佐渡市内の自治会、複数の集落で構成する地区、各種協議会等の市民が主体となって組織する団体であること。
- ②人材活用による地域活性化についての意欲があり、人材の受入れ態勢が整っていること。
- ③提案内容に関し、団体において合意形成を図っていること。

以上、全てを満たし、提案募集に必要な事項を記入いただく様式などを含む募集要項をご確認のうえ、地域振興課まで必要書類を提出していただきたいと思っております。

募集要項は、地域振興課及び各支所・行政サービスセンターの窓口に備え付けるほか、市のホームページからダウンロードできるようにいたします。

人材の活用期間は、平成30年度から平成32年度までの3年以内とし、平成30年1月4日から2月21日までを募集期間といたします。

なお、募集期限となる2月21日以降、速やかに提出いただいた内容を審査し、5件程度の提案を採択する予定となっております。

募集結果及び採択結果は市のホームページにて、公表いたします。

6 平スキー場リニューアルオープンについて

市営の「平(だいら)スキー場」が、来年1月13日の土曜日にオープンいたします。

日本国内の離島のスキー場で唯一のチェアリフトを導入し、ロッジも新設いたしました。

リフトの料金は、1日券は高校生以上2,000円、中学生以下1,000円のほか、午前半日券、午後半日券、シーズン券などもございますので、利用時間によって使い分けが可能となります。

また、初心者からファミリーまで気軽に楽しめるように、レンタル用品も充実させました。

スキー板は大人用110セット、子ども用80セット、スノーボードは大人用20台、子ども用10台をご用意しております。

今シーズンの営業は1月13日から3月18日の期間を予定しております。

営業日は木曜日から日曜日、それと祝日も営業いたします。

営業時間は午前9時から午後4時までとなっております。

なお、積雪等の状況によりまして、臨時休業する場合がございますのでお気をつけください。

そのほか、土曜・日曜・祝日には予約制でシャトルバスの運行を予定しており、このシャトルバスに係る予算については明日28日の臨時議会へ上程する予定になっております。

シャトルバスの運行時間は、行きが金井コミュニティーセンター前より午前8時30分と10時30分の2便、帰りは平スキー場から13時30分と16時30分の2便で、片道500円、小学生以下250円となっております。

リニューアルオープンとなります、1月13日には10時から「オープニングセレモニー」を開催いたします。当日は、「サドッキーと滑ろう」のほか、「雪上車、スノーモービル乗車体験」「八幡芋鍋」「おにぎり無料サービス」などの企画も用意しておりますので、お出でいただければと思います。

オープン以降は平スキー場の積雪情報を佐渡市のホームページからも確認いただけるようにする予定でございます。

この冬は新しくなった「平スキー場」で、楽しいひと時をお過ごしいただければと思います。

7 佐渡航路利用の際は「佐渡市民サービスカード」を忘れずに！！

10月1日から、佐渡航路運賃の島民割引において、佐渡市民サービスカードによる島民確認を始めております。

現在、移行期間として今年の12月31日までは、免許証等の提示でも運賃割引を受けることが出来ましたが、来年、平成30年1月1日からは、「佐渡市民サービスカード」の提示がないと島民割引は受けられませんので、乗船手続きの際には必ず忘れないようにお持ちくださるようお願いいたします。

質疑応答

1 全国で初！テレビ電話を利用した年金相談を実施します。

記者：

数点確認ですが、これまで市内4カ所で月2回の年金相談を、西年金事務所の職員が来て行っていたのですか？

市民生活課長：

これまで月2回程度、新潟から年金事務所に職員が出かけてまいりまして、そこに予約された方の年金相談を行っていました。

記者：

予約でということですね。

市民生活課長：

それも予約制です。

記者：

それともう1つ、このテレビ電話による相談窓口の中に年金請求が入っているのですが、テレビ電話で、例えば書類とか年金手帳とかは提示してテレビ電話だけで行えるのですか？

市民生活課長：

そこに、専用のFAX回線があります。それでコピーを取っていただいて、全ての提出書類に間違いがないというところをテレビ電話、FAXで確認して、そのの仕分けをするサービスセンターの職員に預けていただければ、そのまま年金事務所に送れます。

記者：

佐渡市が選ばれた理由とかは何かお聞きですか。

市民生活課長：

はい。出張年金相談を行ってる離島の中から、年12回以上出張相談を行ってる離島の中から、佐渡市が最初に選ばれたということです。

記者：

そのFAXで書類を確認するということだが、テレビ電話をやるメリットはなんですか？

市民生活課長：

F A Xで書類は確認しますが、ここにこう書いてくださいとか、こういう部分が必要ですよといったことを対面というか、顔を見ながらお話のやりとりができるといった点でございます。

記者：

それもわかるのですが、官公庁は電話回線が少ないですね。我々が電話をかけても繋がらないです。年金事務所にかけても。だから、電話回線を増やすということを並行してやるとか、更に市の職員がそういう対応をしっかりマスターして、色々な意味でアドバイスできる体制を組んで初めて、このテレビ電話という効果出てくると思うのですが。その辺り考えていますか。

市民生活課長：

正式には国民年金ですと、市町村が仕事としてやれますが、これに関しては被用者年金、厚生年金とか共済年金、農林年金、全ての年金を扱うことができます。

年金事務所の職員も、専用で研修を積んだ専門の職員が対応していただけますので、より専門的な間違いのない請求になってくると思います。もちろん研修のほうもマニュアルを用意して、佐和田行政サービスセンターを初めとした研修も行う予定でございます。

記者：

電話回線も今質問したのですが。

市民生活課長：

完全予約制ですので、今行っている予約状況ですと、年 280 件ほど。

予約状況、毎日やりますので、お一人 1 時間程度でした。今までは。ですので 1 本で予約がうまく回れば対応できると思います。

記者：

そのような質問ではなく、官公庁が、電話回線をもっと増やすように依頼することもできるでしょ。市のほうで。

市民生活課長：

それで込み合ってるということであれば依頼はできます。

2 漂着船等の状況について

記者：

今まで佐渡市の費用で処分した船の数と、そのかかった費用を教えてくださいませんか。

環境対策課長：

今まで佐渡市の処分費用ということではありますが、これについては今 3 件で、208 万円ということになります。

記者：

3 件というのは隻数とかでいうと 3 隻でしょうか。

環境対策課長：

はい、3 隻です。

すいません、農林水産課の部分の、今私のほうの環境対策課の関係の部分だけだったのですが、農林水産課の部分が 30 万円入っております。あと、社会福祉課のほうは、130 万円ということで、合計 370 万円ということになります。農林水産課のほうは漂着物ということで、それから社会福祉課のほうについては遺体の処理、そういったほうも含めております。

記者：

今回、国のほうで木造船に関しては負担するということですが、遺体に関して何人が負担するという数値とかは決まっていたのでしょうか？あと今のところ 370 万円程かかっているとのことですが、こちらの費用は、全て市のほうの予算でまかなえるものなのでしょうか。

社会福祉課長：

遺体に関しましては都道府県が費用負担をするという形で、市が最初に負担しますけども、あとから助成いただくという形になっております。

記者：

これまでの費用に関してですけど、そちらの費用対応は 370 万円ほど？

市長：

それは、22 日以降は全額国費負担ということは、言っていました。で、それ以前にかかった部分の費用に対する手当については今、県等々含めて協議をさせていただいております。

3（仮称）佐渡金銀山ガイダンス施設の建設について

記者：

ガイダンス施設着工の時期と、あと完成、竣工の時期を教えてください。

産業観光部長：

はい、ご説明をいたします。11月28日に入札を行いました。で、1億5千万円以上が議会議決案件ということですから、12月の19日に最終的に議会の了解ということで議決をいただきましたので、そこから始めて330日を予定しております。概ね工期は来年の11月の13日が建物の工期です。その後来年の4月以降展示工事を発注いたします。つまり中の、見せる部分です。その完成が再来年の3月末ということになります。それで全部完成ということです。

記者：

中身は話したのですが、金銀山の価値と魅力を映像やグラフィックパネルなどで紹介するという建設が、もう少しあの具体的な、具体的にどのような展示をされるか教えていただけますか

産業観光部長：

まだ今計画中というか設計中ではありますが、今年の3月の時点で基本設計というものがホームページに出ていると思いますのでそちらをご覧くださいと思います。全国的に14~15箇所くらいですか、ガイダンス施設がありますけども、やはり、映像を使ったものであるとか、模型を使ったものであるとか、ものによってどういうふうに見せたら一番効果的に、どう回しができるかという部分が、今一生懸命考えて設計してるということです。

全国にある展示物はそんなに変わらないとは思いますが、今回は非常に映像的なものをちょっと多く使えるようにしようかなって部分がアイデアとしては今ありますので、後ほど決まりましたらお知らせできると思います。

記者：

ガイドステーションっていうのは、金銀山ガイドの受付をするような場所というイメージでよろしいでしょうか？

産業観光部長：

はい。現在観光振興課で佐渡金銀山のガイドの養成を行っていますが、いわゆるここを拠点として、佐渡金銀山のガイド、もしくはここを拠点に相川の町歩きをしていただくというのも我々考えていますから、そういったものをガイドできる方、という部分の拠点施設ということでございます。

4 世界農業遺産 佐渡オリジナルブランドマークデザインの公募について

記者：

募集要項とかいただけないのですか？

産業観光部長：

申し訳ございません。準備をいたしまして配らせていただきます。

5 地域おこし協力隊や大学生等の人材活用をする地域・団体等を募集します！

記者：

マッチングするというのはわかりましたが、来て下さる側はどこから募集するのですか？

市長：

大学とかは、もう既にかかなりの数の大学がゼミ活動とか研究活動等で来ていただいています。その辺の部分の情報でのやり取りの中でになりますし、地域おこし協力隊については、年度年度募集をかけておりますのでその中の応募者で、採用させていただく方とのマッチングということになります。

記者；

大学生の短期間はあることなのですか？

市長：

諸々のパターンが、様々なパターンがありますので、それに対して各地域、集落等の要望をまずちゃんと佐渡市のほうで把握した上で、うまくこれだったらマッチングできるよという、前の材料として全部応募いただきたいというものです。

6 平スキー場リニューアルオープンについて

記者：

細かいですが、レンタル品はウェアのレンタル品は何着くらい？

社会教育課長：

ウェアのほうも多少用意してございます。

特に、子どもとか、そちらのほう用意してございます。

記者：

将来ナイター利用みたいなことは考えておりますか。

市長：

現状、ナイター照明のところまでは計画はしておりません。かなりかかりますので、そこについてはまだ現状では計画しておりません。日中だけさせていただいております。

記者：

勤めている人たちは昼間働いてるわけなので、夜利用できるようになればかなり利用客も増えてくると思うのだけど、将来的にはそういう構想みたいなものは立てないのですか？

市長：

チェアリフトになった、リニューアルされたことによって利用者が増加していただくか、その辺りの増員状況を見ながらということになると思います。

7 佐渡航路利用の際は「佐渡市民サービスカード」を忘れずに！！

記者：

現在どの程度の割合の方がサービスカード以外で割引を受けていらっしゃるのかお伺いしたいのですが。

交通政策課長：

現在10月1日から、サービスカードの導入が始まりまして、現在、サービスカードをお忘れになったとか紛失された方で乗船されると、証明書を出してもらえらるっていう方はほんの数%程度でございます。ほとんどの市民の皆様は島民カードを利用して乗られているということです。